

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地	
国際ビジネス公務員 大学校		昭和59年3月1日		双石 茂		〒963-8002 福島県郡山市駅前一丁目12番2号 (電話) 024-923-4665	
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地	
学校法人 新潟総合学院		平成7年3月24日		池田 祥護		〒951-8065 新潟県新潟市中央区東堀通一番町494番地3 (電話) 025-210-8565	
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士		
商業実務	商業実務専門課程	国際観光科		平成22年文部科学省 告示第31号	-		
学科の目的	本校は、商業実務関係・教育社会福祉関係の専門課程を設置し、社会に貢献しうる人材を育成することを目的とし、推薦学科である国際観光科においては、日々変化する観光業界に柔軟に対応し、最新の業界動向を教育課程に取り入れるとともに、企業等との連携により、より実践的な人材の育成を目的とする。						
認定年月日	平成 27年 2月 17日						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2	昼間	1908時間	382時間	270時間	1173時間	0時間	0時間
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		13人	4人	4人	6人	10人	
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日			成績評価	■成績表： 有 ■成績評価の基準・方法 期末試験、授業態度、実習成果等により評価		
長期休み	■学年始：4月1日～4月6日 ■夏季：7月20日～8月31日 ■冬季：12月21日～1月7日 ■学年末：2月11日～3月31日			卒業・進級 条件	出席率90%以上の出席と科目履修終了により進級・卒業とする。		
学修支援等	■クラス担任制： 有 ■個別相談・指導等の対応 個別面談、保護者面談、欠席者に対する補習等を適宜実施			課外活動	■課外活動の種類 球技大会実行委員 学園祭実行委員 ■サークル活動： 有		
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(平成28年度卒業生) 旅行社・航空会社・旅館スタッフ ■就職指導内容 求人サイトへの登録斡旋、就職相談、履歴書・エントリーシートの添削、面接指導等 ■卒業者数 10 人 ■就職希望者数 9 人 ■就職者数 9 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 90 % ■その他 (平成 28 年度卒業生に関する 平成29年5月1日 時点の情報)			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報) 資格・検定名 種 受験者数 合格者数 国内旅行業務 取扱管理者 ③ 10人 5人 ■自由記述欄 (例) 認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等 ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当する か記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)		
中途退学 の現状	■中途退学者 0 名 ■中退率 0 % 平成28年4月1日時点において、在学者16名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者16名(平成29年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任による出欠確認の徹底、定期的な個別面談、モチベーション教育、教職員の情報共有、カウンセリングの実施						
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度： 有 ※有の場合、制度内容を記入 特待生制度：入学対象者および進級生を対象とし、成績・実績・面接試験をもとに選考。入学金や授業料を免除する。 ■専門実践教育訓練給付： 非給付対象						
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価： 無						
当該学科の ホームページ URL	URL: http://www.jo-bi.jp						

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について  
①「就職率」とは、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。  
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留学」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について  
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者のうち就職者総数の占める割合をいいます。  
②「就職」とは給料、賃金、報酬その他通常の収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱わず)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)  
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

観光業従事者育成において、より実践的かつ最新の知識・技能を有する者を輩出することが専門課程の責務であることから、当該学科においては、国内旅行業務取扱管理者試験の対策のほか、すべての在学学生は、地元観光会社と連携してツアーを企画・立案・実施する実習を行い、企業側・学生側双方の意見、改善点を各々フィードバックし、企画力やホスピ

(2)教育課程編成委員会等の位置付け  
委員会の目的として「教育課程編成の改善」を主とするため、教務部の指導・助言機関として位置づけ、委員会での協議事項を学校管理者で検討し、さらに本校及びグループ校の意見等を取り入れながら教育課程へ反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年10月1日現在

名前	所属	任期	種別
上田 哲	郡山商工会議所 開発事業部 部長	平成29年4月1日～平成30年3月31日	①
影山 幸一	福島交通観光株式会社 課長補佐	平成29年4月1日～平成30年3月31日	③
櫻井 寛也	株式会社近畿日本ツーリスト東北 郡山支店 支店長	平成29年4月1日～平成30年3月31日	③
山口 松之進	郡山観光交通株式会社 代表取締役社長	平成29年4月1日～平成30年3月31日	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回

(開催日時)

第1回 平成29年7月20日 14:00～15:00 平成28年7月28日 14:00～15:00 実施済み  
第2回 平成29年11月16日 14:00～15:00(予定) 平成28年1月13日 14:00～15:00 実施済み

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

・インターンシップにおいて、旅行業界のみならず、宿泊業等のインターンシップも積極的に学生に参加を呼び掛ける  
・インターンシップ提携先の増加に向けた取り組み ・福祉施設を対象とした募集型企画旅行の検討

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

卒業後の即戦力を目指すため、インターンシップ実習を強化し、受入れ企業に対しては、マンツーマンの指導者対応を要請するとともに、複数部署での実務研修を実施する方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

旅行会社をはじめとした企業と、学校で定めた項目に基づいて実習を実施。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
添乗実習	添乗実習 実際の募集型企画旅行にサブ添乗員として同行し、実際のプロの仕事の現場を間近で体感する	福島交通観光 孫の手トラベル
国内旅行プランニングⅠB	国内研修旅行のプランニング 学科の研修旅行を、旅行会社監修のもとプランニングをし、プレゼンテーション・旅行準備・添乗まで一貫した旅行会社の仕事を体感する	福島交通観光
国内旅行プランニングⅡ	募集型企画旅行の企画 ターゲット・集客方法を明確にした上で、ヒアリングやアンケート調査を行い旅行需要の有無および募集型企画旅行の成立可能性の可否を検討し、旅行会社にプレゼンテーションする	福島交通観光 孫の手トラベル
地域振興事業応援実習	LXDプロジェクト(復興庁委託事業) 磐越道を中心に位置する4市町を対象に、地域の魅力を伝える新たなインバウンド向けコンテンツ(PV)を開発およびPRし、訪日需要を開拓する	復興庁、ゼビオグループ、XPJP Google、ORACLE、Adobe等
観光実務ⅠB	留学生との福島インバウンド(福島県委託事業) 郡山市を対象に、留学生目線による地域の魅力発信を行い、インバウンド向けコンテンツ(ポスター・PV)を開発およびPRし、訪日需要を開拓する	福島県、 郡山ふるさと田舎体験協議会等

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針  
 基本は企業現場からの教員採用を前提としているが、学校内部で教員年数を重ねていくにつれ、ややもすれば過去の知識・経験のまま陳腐化した教育を施す危険性もある。このため、就業規則第57条等による教育・研修体制、特に外部研修を充実させ、日々の研鑽とスキルアップを図る方針とする。

(2) 研修等の実績  
 ① 専攻分野における実務に関する研修等  
 基本は企業現場からの教員採用を前提としているが、学校内部で教員年数を重ねていくにつれ、ややもすれば過去の知識・経験のまま陳腐化した教育を施す危険性もある。このため、就業規則第57条等による教育・研修体制、特に外部研修を充実させ、日々の研鑽とスキルアップを図る方針とする。  
 ② 指導力の修得・向上のための研修等  
 1. 公益社団法人日本青年会議所 効果的なプレゼンテーションセミナー参加(5月14日,15日)  
 2. 全専研退学抑止者研修参加(8月22日)

(3) 研修等の計画  
 ① 専攻分野における実務に関する研修等  
 H29.9 ツーリズムEXPO視察 H29.10 コンベンションセミナー「地域で造る『MICE』」  
 ② 指導力の修得・向上のための研修等  
 1. 退学抑止者研修(3月16日予定) 2. 教員研修(2月19日予定) 3. 実践行動学指導者研修(3月22日予定)

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針  
 学校関係者評価については、文部科学省策定の「専修学校における学校評価ガイドライン」をベースに、任意団体である全国専門学校経営研究会(加盟校:26法人113校)により協議検討を重ねた「自己点検・評価基準」を主に、点検基準表を策定し、学校が委員会等の点検・評価を基に作成し、学校長が再点検の上、学校運営に反映させる方針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念、教育目的、教育目標
(2) 学校運営	教育の内容・管理運営・改革改善
(3) 教育活動	教育の内容
(4) 学修成果	教育目標の達成度と教育効果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育の実施体制
(7) 学生の受入れ募集	学生支援
(8) 財務	管理運営(法人)
(9) 法令等の遵守	管理運営
(10) 社会貢献・地域貢献	社会的活動
(11) 国際交流	留学生状況・国際提携校・国際交流活動

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況  
 学校・評価委員会・本部による点検後の自己点検評価に基づき、不備な点の改善、方向性の決定、優良な点の継続、及び次年度以降の解決・取組課題を具体化し、学校の質保証・向上に努めていく。平成28年度評価内容において地域に貢献できる人材の育成においては卒業後の離職状況についても公表していくべきとの結論となり、平成28年度卒業生について1年後の調査後に状況を把握し平成30年度に情報を共有することとしている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年9月13日現在

名前	所属	任期	種別
影山 幸一	福島交通観光株式会社 課長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	卒業生
桑原 一徳	郡山情報ビジネス公務員専門学校 同窓会会長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	卒業生
三郎 吉久	税理士法人三郎会計事務所 代表社員	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	企業等委員
上田 哲	郡山商工会議所 開発事業部 部長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	企業等委員
永山 三郎	郡山情報ビジネス専門学校 元校長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	元校長
双石 茂	国際ビジネス公務員大学校 学校長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	学校長
増子 卓矢	国際ビジネス公務員大学校 副校長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	副校長
井口 義基	国際ビジネス公務員大学校 教務部長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	教務部長
菅野 浩二	国際ビジネス公務員大学校 地域連携課課長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日(1年)	課長

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期 H29.9.30  
 (ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ) )  
 URL:<http://www.jo-bi.jp>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況」

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針  
 当校の教育内容、内部活動、外部活動、資格・コンペ・表彰、また学校経営に係る事項等の実績については、公益法人として、関連団体・関連業界・学生就職先のほか、広く万人に発信する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標
(2) 各学科等の教育	学科別カリキュラム・特色・資格・就職実績
(3) 教職員	専任教員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・就職指導
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事・対外活動・イベント・施設・設備
(6) 学生の生活支援	各種奨学金制度・学生寮・住居紹介
(7) 学生納付金・修学支援	各種奨学金制度・学費サポート・特待生制度
(8) 学校の財務	収支決算書
(9) 学校評価	自己点検評価結果
(10) 国際連携の状況	留学生状況・国際提携校・国際交流活動
(11) その他	生涯学習・編入学等

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法  
 Webページ URL:<http://www.jo-bi.jp>

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程観光科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			コミュニケーション論Ⅰ	ビジネスシーンに通用するコミュニケーションの手法を学ぶ	1後	28	—	△	○	○	○				
○			一般教養演習Ⅰ	社会人に必要な教養と常識を習得し、筆記試験の対策を行う	1前	32	—	○			○				
○			一般教養演習Ⅱ	社会人に必要な教養と常識を習得し、筆記試験の対策を行う	1後	28	—	○			○				
○			キャリアプランⅠ	職業観の育成・進路指導に関わるグループワークや授業を行う	1後	42	—	△	○	○					
○			レクリエーション実習	球技大会を通して集団内での協調性を身に付ける	1後	6	—			○	○	○			
○			観光地研修	学科内の研修旅行にて、観光地の視察研修および添乗の実習を行う	1前	30	—			○	○	○			
○			ツーリズムEXPO視察研修	東京ビッグサイトで行われるツーリズムEXPOに参加し、最新の旅行業界の動向を学ぶ	1後	8	—			○	○	○			
○			就職研修	就職活動に向け、姿勢や挨拶など実践的な研修を実施	1後	20	—			○	○		○		
○			旅行業法	旅行業に必要な登録制度・取引条件の説明などを学ぶ	1前	32	—	○			○			○	
○			国内旅行実務A	JR・航空・貸切バス・船舶・宿泊の運賃料金の算出法を学ぶ	1前	56	—	○			○		○		
○			国内旅行実務B	国内旅行の資源となる観光地・祭り・土産品などを把握する	1前	56	—	○			○		○		

○		国内観光資源	国内の観光地をエリアごとにまとめ、魅力をプレゼンテーションする	1 後	28	—			○	○		○		
○		旅行業約款	契約・解除・補償など旅行者と旅行業者との取り決めを学ぶ	1 前	48	—	○			○			○	
○		国内旅行国家試験対策	旅行業法・約款・国内観光資源・国内運賃料金の集中講座	1 前	96	—		○		○		○		
○		観光英語 I A	異国文化を理解し、観光における英語での対話力を培う	1 前	32	—	○			○			○	
○		観光英語 I B	異国文化を理解し、観光における英語での対話力を培う	1 後	40	—	○			○			○	
○		旅程管理研修	旅程管理主任者として活躍できる素養を身に付ける	1 後	20	—	○				○		○	
○		イベント&コンベンション概論	MICEの運営を視野に入れ、卒業研究のプレゼン大会の運営・実施	1 後	28	—			○	○		○		
○		観光ホスピタリティ	サービス業において必要となるホスピタリティを学ぶ	1 後	14	—	○			○		○		
○		旅行プランニング I A	研修旅行に参加するにあたり、下調べを行なう	1 前	20	—			○	○		○		
○		旅行プランニング I B	学科の研修旅行を、旅行会社監修のもとプランニングをし、プレゼンテーション・旅行準備・添乗まで一貫した旅行会社の仕事を体感する	1 後	44	—			○	○		○		○
○		Word実習	ワードの操作方法と文書作成方法を習得する	1 前	48	—			○	○			○	
○		Power Point実習	PowerPointの操作方法とプレゼンテーション力を養う	1 後	28	—			○	○			○	
○		地域振興事業応援実習	地元のバスケットチームを応援し、地域復興に向けて取り組む	1 後	20	—			○		○			○
○		インターンシップ実習	希望業界の業種にてインターンシップを通し職業観を養う	1 後	35	—			○		○			○

		○	ボランティア実習	ボランティア活動を通し、積極性やコミュニケーション力を強化する	1後	20	—			○	○			○
○			英会話ⅠA	英語での日常会話をできるように、ネイティブスピーカーの講師より学ぶ	1前	32	—			○	○			○
○			英会話ⅠB	英語での日常会話をできるように、ネイティブスピーカーの講師より学ぶ	1後	28	—			○	○			○
○			ホテル業界研究	観光業界の一つホテル業界の研究をし、発表を行なう	1後	28	—			○	○			○
○			観光実務ⅠA	留学生との合同授業で、留学生目線で東北の魅力的な観光地を調べ、発表を行なう	1前	32	—			○	○			○
○			観光実務ⅠB	郡山市を対象に、留学生目線による地域の魅力発掘を行ない、インバウンド向けコンテンツ(ポスター・PV)を開発およびPRし、訪日需要を開拓する	1後	42	—			○	○	○		○
○			添乗実習	福島県内の旅行会社と連携し添乗実習を行う	1後	8	—			○	○			○
○			海外観光資源	各国の世界遺産を初めとする観光地を把握する	1後	18	—	○		○				○
○			コミュニケーション論Ⅱ	ワークショップを用いてコミュニケーション能力を養う	2後	28	—	△		○	○			○
○			キャリアプランⅡ	職業人としての生活設計を立てる	2後	60	—	○		○	○			
○			卒業研究	自分が興味を抱く異文化の研究・調査・プレゼンを行う	2後	42	—			○	○			○
○			レクリエーション実習	球技大会を通して集団内での協調性を身に付ける	2後	6	—			○	○	○		
○			プレゼンテーション研修	校外実習にて学科に関わる研修先を学生自ら選定し、研修した内容をまとめプレゼンテーションする	2後	10	—			○	○			○
○			観光地研修	学科内の研修旅行にて、観光地の視察研修および添乗の実習を行う	2前	30	—			○	○	○		

○		国際文化研修	異文化体験を通しグローバル社会に対応する国際感覚を養う	2後	40	—			○	○								○
○		海外旅行プランニング	国際文化研修に向けた準備や海外旅行のプランニングを行なう	2後	32	—			○	○			○					
	○	国際航空運賃料金	IATA加盟の航空会社を中心に運賃料金の算出方法を学ぶ	2前	32	—	○			○			○					
○		海外旅行実務	時差の計算や世界の空港・航空会社・鉄道を把握する	2前	56	—	○			○			○					
○		出入国法令実務	旅券の申請・受領手続き、輸出入品の規制等を学ぶ	2前	14	—	○			○								○
○		旅行国家試験対策	国家試験に合格できる応用力を身に付ける	2前	86	—		○		○			○					
○		国内旅行実務	国家試験の合格に向け、JR・航空・貸切バス・船舶・宿泊の運賃料金および国内観光資源を復習し、マスターする	2前	56	—		○		○			○					
○		旅行業法Ⅱ	国家試験の合格に向け、旅行業に必要な登録制度・取引条件の説明などを復習し、マスターする	2前	16	—		○		○								○
○		旅行業約款Ⅱ	国家試験の合格に向け、契約・解除・補償など旅行者と旅行業者との取り決めなどを復習し、マスターする	2前	16	—		○		○								○
○		観光英語ⅡA	観光の現場で使用する話す能力・聴く能力・読み取る能力を養う	2前	32	—	○			○								○
○		観光英語ⅡB	観光の現場で使用する話す能力・聴く能力・読み取る能力を養う	2後	36	—	○			○								○
○		英会話A	英語での日常会話をできるように、ネイティブスピーカーの講師より学ぶ	2前	32	—				○	○							○
○		英会話B	英語での日常会話をできるように、ネイティブスピーカーの講師より学ぶ	2後	28	—				○	○							○
○		国内旅行プランニングⅡA	研修旅行に向けた旅行準備・旅行説明会準備・添乗準備を行なう	2前	48	—				○	○							○

○		国内旅行プランニングⅡB	ターゲット・集客方法を明確にした上で、ヒアリングやアンケート調査を行ない、旅行需要の有無および募集型企画旅行の成立可能性の可否を検討し、旅行会社にプレゼンテーションする	2後	104	—			○	○		○	○
○		Excel実習	エクセルの操作方法と表計算処理の方法を学ぶ	2前	32	—			○	○			○
○		地域振興事業応援実習	磐越道を中心に位置する4市町を対象に、地域の魅力を伝える新たなインバウンド向けコンテンツ(PV)を開発およびPRし、訪日需要を開拓する	2後	20	—			○		○	○	○
	○	インターンシップ実習	希望業界の業種にてインターンシップを通し職業観を養う	2後	50	—			○		○		○
	○	ボランティア実習	ボランティア活動を通し、積極性やコミュニケーション力を強化する	2後	20	—			○		○		○
○		ビジネス電話演習	ビジネスの場における正しい電話対応を実習形式で学ぶ	2後	28	—			○	○			○
	○	ホテル概論Ⅰ	ホテル実務検定の範囲を学ぶことにより、ホテル業の全体像を知る	2前	28	—	○			○			○
○		マーケティングⅠA	マーケティングの中のイベント開催を中心に、展開方法や企画立案にあたっての基礎知識習得を目指す	2前	32	—	○			○			○
○		マーケティングⅠB	前期の学びを活かし、イベントの企画を立案し、プレゼンテーションを行なう	2後	20	—			○	○			○
○		スポーツイベント運営企画	スポーツと観光業の結び付きを学び、企画・運営を行なう	2後	28	—			○	○		○	
合計					63科目	1908単位時間( 単位)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
90%の出席と科目履修終了により卒業。履修方法は科目の特性に合わせ講義・演習・実習の形式をとる。 (留意事項)		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	16週

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。